

- 問1 宮城県などの東北地方太平洋側において、1993年や2003年のように米の作況指数が大きく落ち込む原因となった、夏にオホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風を何といいますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. からっ風 2. フェーン 3. やませ 4. 季節風
- 問2 日本の各地域における農業産出額の品目別割合を比較したとき、米の割合が約35%に達し、提示された他の地域と比べて米の比率が極めて高いという特徴を持つ地域はどこですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 東北地方 2. 関東地方 3. 近畿地方 4. 九州地方
- 問3 中央部に火山や深い湖があり、東部で「ごぼう」の生産が盛んな地域では、収穫された農作物を大消費地である東京へ供給するためにどのような工夫がなされていますか。流通の仕組みとして正しいものを選びなさい。 (2023年 東京都公立入試 類似)
1. 収穫後に冷蔵庫で保管し、トラックを用いて約10時間かけて輸送する。 2. 収穫後すぐに加工工場へ運び、すべて缶詰や冷凍食品として出荷する。 3. 鮮度を維持するために、収穫後すぐにフェリーで2日かけて近畿地方へ運ぶ。 4. 施設栽培により生産時期を調整し、航空便を用いて海外へ輸出する。
- 問4 東北地方では、青森ねぶた祭や仙台七夕まつりといった伝統行事が重要な観光資源となっています。2024年の統計資料によれば、これらの祭りは多くの観光客を呼び込み、地域に多額の利益をもたらしています。このように、祭りの開催によって宿泊施設や飲食店、交通機関などの売上が増え、地域全体に及ぼされる経済的な波及効果を何といいますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 地産地消 2. 過疎化の抑制 3. 伝統的工芸品 4. 経済効果
- 問5 高速道路沿いに整備された工業団地には、輸送しやすく付加価値が高い製品を製造する工場が多く立地する傾向があります。東北地方において、高速道路沿いにこの種類の工場が多く集まっていることから「シリコンロード」とも呼ばれますが、そこで主に生産されている製品はどれですか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 鉄鋼 2. セメント 3. 半導体 (集積回路) 4. 石油化学製品
- 問6 日本の農業に関する統計において、東北地方が全国の産出額の24.1%を占め、産出額上位10府県の多くが東北地方や北陸地方の日本海側に集中している農作物はどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 果実 2. 米 3. 畜産 4. 野菜
- 問7 東北地方に位置するある県では、製造品出荷額等が約9兆522億円に達し、工業が非常に盛んです。この県の農業統計を見ると、米の産出額が156億円であるのに対し、野菜の産出額が912億円と高く、県庁所在地などの都市部に向けた生産が特徴的です。このデータが示す県はどこですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
1. 山形県 2. 秋田県 3. 福島県 4. 宮城県
- 問8 東北地方では、各県の気候や地形条件を活かして特定の農産物を重点的に生産する農業が盛んです。青森県のりんご、山形県のさくらんぼ、福島県の桃などの生産がその代表例ですが、このような農業の特色について述べた説明として正しいものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. すべての県が同じ種類の野菜を均等に生産することで、東北地方全体での市場価格の安定を図っている。 2. 冷害の影響を避けるために、東北全域の農地において米から麦類への転換が一斉に進められた。 3. 広大な平野部を利用し、果樹よりも稲作の面積割合をすべての県で一律に高める政策がとられている。 4. 各県が特定の果樹を重点的に栽培することで、県全体の農産物栽培面積においても大きな割合を占めている。
- 問9 南部鉄器のように、経済産業大臣によって「伝統的工芸品」に指定されるための条件として、法律（伝統的工芸品産業の振興に関する法律）に基づいた正しい記述はどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 伝統的な技術や技法が、少なくとも100年以上前から今日まで継続していること 2. 最新の自動化機械を導入し、短期間で安価に大量生産が可能であること 3. ここ10年以内に新しく開発され、地域の観光資源として認められたものであること 4. 日常生活で使われるものではなく、鑑賞のみを目的とした高価な美術品であること
- 問10 日本列島の東側、千島列島に沿って東北地方の太平洋沿岸を南下する海流は、プランクトンが豊富で魚を育てる「親」のような役割を果たすことから何と呼ばれますか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 対馬海流 2. 親潮 3. リマン海流 4. 黒潮
- 問11 青森県のねぶた祭、秋田県の竿燈まつり、宮城県の仙台七夕まつりなどの東北地方の夏祭りは、例年8月上旬の同時期に開催されます。こうした各地の祭りを効率よく巡ってもらうために、交通機関や宿泊施設と連携して行われる観光施策の名称として、最もふさわしいものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 地産地消の拡大 2. 周遊観光の促進 3. 伝統文化の完全独立開催 4. 農業労働力の確保
- 問12 宮城県の沿岸部ではカキの生産が非常に盛んであり、全国の生産量の約6割を占めるという統計もあります。この地域において、カキの養殖がこれほどまでに発達した理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 稚貝を人工的に孵化させたあとに一度外洋へ放流し、成長して再び戻ってきた個体を効率よく捕獲する仕組みが確立されているため。 2. リアス海岸の急峻な崖によって日照時間が制限されることが、カキの身を大きく太らせるために必要な環境条件と一致しているため。 3. 広大な大陸棚が広がっており、寒流と暖流がぶつかる潮目（潮境）が近いため、網を使って一度に大量の貝を捕獲できるため。 4. 入り組んだ湾内は波が静かで設置したいかだが壊れにくく、さらに山からの栄養分が流れ込むことで餌となるプランクトンが豊富であるため。
- 問13 日本の諸地域における面積と人口の割合を整理した統計において、国土全体に占める面積の割合が約18%であるのに対し、人口の割合が約7%にとどまっている地方があります。この地方の人口密度に関する記述として最も適切なものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. 広大な平野部に人口が集中しているため、全国でも有数の高い人口密度を示している。 2. 面積の割合に比べて人口の割合が小さいため、全国的に見て人口密度が低い。 3. 人口の割合が面積の割合を大きく上回っており、都市部での過密化が最大の課題となっている。 4. 面積の割合と人口の割合がほぼ一致しており、全国平均に近い人口密度である。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 やませ	オホーツク海高気圧が勢力を強めると、そこから冷たく湿った北東風が東北地方の太平洋側に流れ込みます。これが「やませ」です。夏にもかかわらず気温が上がらず、日照時間も不足するため、稲の生育が著しく妨げられる冷害の原因となります。1993年は「平成の米騒動」と呼ばれるほどの記録的な冷害が発生しました。
問2	答え 1 東北地方	日本の「穀倉地帯」と呼ばれる東北地方は、広大な平野を活用した稲作が盛んです。農業産出額の構成において、全国平均と比較しても米の占める割合が高いのが最大の特徴です。一方で、九州地方は畜産の割合が、関東地方は近郊農業の影響で野菜の割合が高くなる傾向にあります。
問3	答え 1 収穫後に冷蔵庫で保管し、トラックを用いて約10時間かけて輸送する。	福島県周辺で生産されるごぼうは、品質と鮮度を維持するために収穫後に冷蔵保管されるのが特徴です。また、東北地方という立地を活かし、高速道路網を利用したトラック輸送によって、約10時間という半日圏内で東京などの首都圏市場へ安定的に供給する体制が整えられています。
問4	答え 4 経済効果	地域の伝統行事が観光の目玉となることで、県外から訪れる人々が宿泊や食事、土産物の購入にお金を使います。これにより、祭りそのものの収益だけでなく、周辺のさまざまな産業に利益が広がる現象を指します。東北地方では、特に青森ねぶた祭や仙台七夕まつりなどの大規模な祭りが、地域経済を支える重要な柱となっています。
問5	答え 3 半導体（集積回路）	半導体や電子部品は、小型で軽量なわりに価格が高い（軽量高付加価値）ため、輸送コストの影響を受けにくく、トラックや航空機での輸送に適しています。また、東北地方はきれいな水や空気が豊富で、精密機械の洗浄などに適していることも集積の理由の一つです。鉄鋼や石油化学製品は、原料を海外から大量に輸入する必要があるため、内陸部ではなく臨海部に工場が立地します。
問6	答え 2 米	秋田県や山形県、新潟県などを含む東北・北陸地方の日本海側は、広大な平野と豊富な水資源に恵まれており、古くから日本の「穀倉地帯」として知られています。特に東北地方においては、農業産出額の約4分の1をこの農作物が占めており、日本の主食を供給する重要な役割を担っています。
問7	答え 4 宮城県	宮城県は、東北地方において製造品出荷額等が突出して多い工業県としての側面を持っています。農業においては、全国的に有名な米どころである一方、東北最大の都市である仙台市という大きな消費地を抱えているため、都市住民向けに新鮮な野菜を供給する近郊農業が発達しており、統計上も野菜の産出額が高い割合を占めるという特徴があります。
問8	答え 4 各県が特定の果樹を重点的に栽培することで、県全体の農産物栽培面積においても大きな割合を占めている。	東北地方の農業は「米どころ」として知られる稲作だけでなく、果樹栽培も非常に盛んです。特に青森県、山形県、福島県では、それぞれの地域の環境に適した特定の果樹（りんご、さくらんぼ、桃など）を重点的に生産することでブランド化を図っており、それぞれの県の農産物栽培面積において、それら果樹が占める割合が他の県に比べて高いというデータ上の特徴が見られます。
問9	答え 1 伝統的な技術や技法が、少なくとも100年以上前から今日まで継続していること	国の指定を受ける伝統的工芸品には、100年以上の歴史があること、伝統的な技術・技法が用いられていること、主要な工程が手作業であること、日常生活で使用されるものであることなどの厳格な要件があります。これにより、地域の文化や産業が守られています。
問10	答え 2 親潮	千島列島から流れてくるため「千島海流」とも呼ばれます。栄養分が豊富な「寒流」であり、日本の東側で暖流の黒潮とぶつかることで、世界的な漁場を形成しています。
問11	答え 2 周遊観光の促進	観光客が特定の目的地だけでなく、その周辺の複数の地点を巡りながら観光することを「周遊（しゅうゆう）」と呼びます。東北地方では、新幹線や高速道路などの交通網の発達を背景に、複数の県にまたがる夏祭りの日程を近づけることで、広域的な観光ルートを形成し、地域経済を活性化させる取り組みが行われています。
問12	答え 4 入り組んだ湾内は波が静かで設置したいかだ が壊れにくく、さらに山からの栄養分が流れ込むことで餌となるプランクトンが豊富であるため。	リアス海岸の入り組んだ地形は、養殖に必要ないかだを安定して浮かべるための静かな水面を提供します。また、背後に迫る山々から川を通じて森の栄養分が海へ流れ込み、カキの餌となるプランクトンが大量に発生することも、全国有数の生産量を誇る重要な要因です。潮目での漁獲は沖合漁業の特徴であり、一度放流してから捕る方法は「栽培漁業」の説明です。
問13	答え 2 面積の割合に比べて人口の割合が小さいため、全国的に見て人口密度が低い。	東北地方は、日本の総面積の約18%（17.7%）という広大な土地を有していますが、総人口に占める割合は約7%（7.1%）にとどまっています。面積の大きさに比して居住する人口が少ないため、1平方キロメートルあたりの人口を示す人口密度は、全国的に見て低い値となるのが大きな特徴です。